

ES-Kyushu 第7回幹事会 記録

場所：中小企業基盤整備機構 1階

日時：2010.7.23（木） 15：00～17：00

18：15～17：15 懇親会

出席者：配布資料

配布資料：・ES-Kyushu 議題

- ・セミナー開催希望調査
- ・幹事会運営規則
- ・第7回 ES-Kyushu 幹事会 出席者

議事要約

1. ES-Kyushu の今後の運営について

○幹事会の増員による意思決定の円滑化のため、副座長を増員する方向で手続きを進める。

- ・原則として、理事の所属企業から
- ・芦原幹事、池田幹事、諫山幹事、岩崎幹事
- ・幸田理事については所属企業の馬場幹事が東京勤務になっているので、別途調整
- ・熊本（テクノアート）は、富松座長が兼ねる。

○現在、幹事不在の鹿児島県、佐賀県から幹事を推薦いただく。

○JASA（門田氏）、正興電機（犬塚氏）、およびIPA から顧問に就任いただくよう手続きを進める。

○部会、委員会の設置

作業分担と各活動に特化するために部会・委員会を設立し、幹事及びサポータにまとめ役と幹事会でのパイプ役を担っていただく方針が示された。具体的には、事務局サポータで検討。

この中で、ホームページを会員が活用しやすくするための作業部会は、早急に活動を開始する。目標は以下のとおり。部会長は高本幹事。メンバーはこれから。

- ・会員外、ユーザ、川下産業への情報発信
- ・恒常的なバーチャル展示会の実現
- ・ニーズ発掘
- ・会員数の維持増大
- ・会員の活用メリットの顕在化
- ・試験期間を設置し、有用性が明確化すれば、ホームページ掲載/利用の有料化も検討
- ・ホームページのランク向上と相互のリンケージの

深化

- ・組込みというキーワードの再検討
たとえば、アプリケーションごとに農業分野であれば農業の 1.5 次産業化
- ・行政のメリットも配慮のこと
- ・九大（福田副会長）、富松座長からの協力申し出あり。

○JASA との協定書締結も検討

2. 九州組込みサミット、九州アジアサミット

○今年度は、熊本で 11 月 25 日開催

○その後の開催場所の決定プロセス、決定時期及び支援体制については、検討事項が多いので、継続検討。8 月上旬を目途にサミットの目的や概要を各メンバーに配布する。

（富松座長 & 事務局）

- ・サミットの当初の名称は、地域における組込み関係者代表による円卓会議のコンセプト。
- ・必要経費は、50 万円程度。ただし、内訳は、講師の旅費、謝金、会場費位なので、やり方によっては少額でも実施可能。
- ・予算確保の頭出しは既に始まっている。

○熊本で開催するサミットの準備は ES-Kyushu の幹事（事務局サポーターレベル）でやらざるを得ないだろう。プログラム委員会を立ち上げる。（8 月、9 月に各 1 回）

3. モノづくりフェア 2010・企画

芦原幹事から計画概要を説明。

- ・発表内容について提案があれば考慮（芦原幹事）

4. E T 2010 の展示

コマ数：451000 円（1 コマ基本額）を複数社で負担できるようになったので、全体で 4 コマ確保。

- ・とりあえずレガートは出展、他は後日調整
- ・8 月末までに提示内容を待ってもらうように ET 事務局へ連絡

5. I P A との連携協定

手続きは少し遅れているが、予定通り締結される模様との説明

6. I P A との連携セミナー

- ・中級／事例の方を ES-Kyushu で実施する方向性が示された。
- ・各地域への紹介。8 月末を目途に希望とりまとめ。

7. JAXA探査機「はやぶさ」セミナー

- ・ I S I Tの定期交流会として実施（12月）
- ・ 講演の後、30～60分くらいのパネルディスカッションを行う（ES-Kyushu）。

8. 幹事会運営規則の改定

- ・ 座長1名、副座長数名とする
- ・ 幹事の任期は総会から2年後の総会までとする。

以上